

頁	行等	誤	正
1	下7	材料力学	材料力学 (strength of materials)
2	下11(追加)	・材料全体にわたって…	(1) 均質性 材料全体にわたって…
	下8(追加)	・一般的には、…	(2) 等方性 一般的には、…
	下5(追加)	・物体が外力によって…	(3) 微小変形 物体が外力によって…
	下2(追加)	・数種類の…	(4) 重ね合わせの原理 数種類の…
3	下3	切断法	切断法 (method of section)
6	1	垂直応力	垂直応力 $\sigma$
	6	リベットに、～作用している。	リベットで締結された板に、15kNの引張力が作用している。
	図1.3		欄外
	8	この場合、～横断面である。	この場合、リベットにはせん断力 $F$ が作用し、せん断を受ける面はリベットの横断面積 $A$ である。
18	下10(追加)	通常、機械部品や…	(1) 許容応力 通常、機械部品や…
	下1	しかしながら実際の…	(2) 安全率 実際の…
19	13(追加)	機械設計…	(3) 強度設計の手順 機械設計 (machine design, mechanical design) …
	13	機械要素	機械要素 (machine element)
24	図3.1		欄外
28	図3.6(a)	$X, X'$	$X, X'$ (立体)
29	1	断面 $X-X'$	断面 $X-X'$ (立体)
	下6	図3.7(a)に示すように～断面に生じる…	図3.7(a)に示すように仮想した断面の左側部分を押し上げ、右側部分を押し下げたときに、この断面に生じる…
32下9, 39下5, 45上10, 50下2, 53上4, 上6		$(0 \leq x < a)$	$(0 \leq x \leq a)$
33	図3.10(c)		図(c)に、図(a)と同様の位置にCを追加
36	下10	固定端Aを	固定端(点A)を

頁	行等	誤	正
38	9	ついては正負も	ついては左右だけでなく正負も
39下5, 45上11		$(a \leq x < a + b)$	$(a \leq x \leq a + b)$
53上6, 54上6		$(a \leq x < l - a)$	$(a \leq x \leq l - a)$
54	図3.24(a)～(d)		欄外
62	1	分布荷重と	集中荷重と
	式(3.106)の第2式	$\frac{F(x)}{dx}$	$\frac{dF(x)}{dx}$
66	図4.6	式(3.12)および式(3.13)と	式(3.10)および式(3.11)と
67	6, 8	中立軸	中立軸 $z$
68	下6	…および、	…とよぶ。
69	2～3	図4.7に示すような、～微小面積 $dA$ を考える。	図4.7に示すように、原点 $O$ を通る $y-z$ 軸の座標系において、はりの断面形状を考える。この断面の面積を $A$ とし、任意の位置 $(y, z)$ に微小面積 $dA$ を考える。
72	式(4.30)の第4式	$I_y + I_z$	$I_z + I_y$
74	7	式(4.36)より、	式(4.35)より、
76	7	$= d/2$	$= d_0/2$
81	4	最大曲げ応力は	最大曲げ応力は $\sigma_{max}$ であり
97	式(5.5)の第2式	$\frac{d^2y}{dx^2}$	$\frac{d^2y}{dx^2}$
111	下5	$\sigma_a =$	$\delta_a =$
112	下2, 3		第2式の最後に単位 $m$ を追加
112	式(5.66)の第2式	$\int_0^l w_0 dx$	$\int_0^l w_0 d\xi$
	式(5.67)の第2式	$\int_0^l x w_0 dx$	$\int_0^l \xi w_0 d\xi$

頁	行等	誤	正
116	7 (dy/dx) 箇所	$(dy/dx)_{x=0} = (dy/dx)_{x=l} = 0$	$(dy_1/dx)_{x=0} = (dy_2/dx)_{x=l} = 0$
	11 (y 2箇所)	$y(x=0) = y(x=l)$	$y_1(x=0) = y_2(x=l)$
121	1	$(dy/dx)_{x=0}$ および $y(x=0)=0$	$(dy_1/dx)_{x=0}$ および $y_1(x=0)=0$
	8	$y(x=l)=0$	$y_2(x=l)=0$
123	3, および式(5.149) 2箇所	$\leq$	$<$
	7	$\geq$	$>$
124	図5.16(b)	$y_0$	$ y_0 $
	図5.16		図(b)の下の図に(c)と付ける
125	5	となる。…(追加)	となる。式(5.159)より $y_0$ は負の値をとり、上側にたわむ。
128	図5.18		図(c)の下の図に(d)と付ける
132下5, 134上2		曲げ応力は	曲げモーメントは
132	図5.20		欄外
133	1	図5.20に～形状になる。	図5.20に示すように、板の厚さは固定端から先端に向かって先細りする放物線形状になる。
	下4	たわみ量は2倍になる。	平等強さのはりのたわみ量は2倍になる。
134	2	$M = -w_0(\dots)$	$M(x) = -w_0(\dots)$
151	下4～3	両方のばねについて	両方のばねについて
152	11(追加)	cylinder という。	cylinder あるいは thin cylinder という。
155	13(追加)	(spherical shell)	(thin-spherical shell あるいは thin-sphere shell)
158	下5	外力は	外力のした仕事は
160	式(8.8)	第5式を追加	$= \frac{1}{2} E \varepsilon^2$
177	2	衝撃を	衝撃荷重 (impact load, dynamic load) を
	2	静的に(非常にゆっくり)	静的な(非常にゆっくりした)
	3	荷重が	荷重 (static load) が

頁	行等	誤	正
179	2	一方、棒に…	一方、衝突によって棒に…
	2, 4, 7, 9, 下8, 2	$\sigma$ または $\sigma^2$	$\sigma_d$ または $\sigma_d^2$
186	図9.6(b)		点 $p$ のなす $\angle qpr$ に $\theta$ を追加
187～198	図9.7(b), 9.8(a)(b), 9.12(b), 9.18(b)(c)		四角形要素の中心から $x$ 軸と直角になる上向きの $y$ 軸(実線)を追加
192	10	$\pi/2(\theta_s = \theta_n \dots)$	$\pi/2$ ( $\theta_s = \theta_n \dots$ 「カッコの前を一文字あける」)
193	図9.13		欄外
197	8	また、主せん断…	さらに、主せん断…
219～224	多数あり, 図11.1, 11.4中	$t$	$T$ (大文字)
220	4	ここで $\alpha \angle t > 0$ の	ここで $\alpha$ が正の場合、温度が上昇する $\Delta T > 0$ の
	5(追加)	…生じることになる。	…生じることになる。一方、温度が低下する場合には $\Delta T < 0$ であり、熱収縮に対して正の応力、すなわち引張応力が生じる。
232	11(追加)	ものとする。	ものとする(9.2.5項を参照せよ)。
232～233	記号修正(図12.4, 本文に多数あり)		$\sigma_M \rightarrow \sigma_b, \tau_M \rightarrow \tau_t$
262	下8(追加)	応力緩和	応力緩和 (stress relaxation)
索引	用語追加		応力緩和 262, 機械要素 19, 材料力学 1, 衝撃荷重 177, 静的な荷重 177

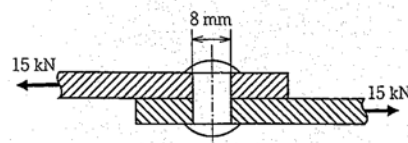


図 1.3

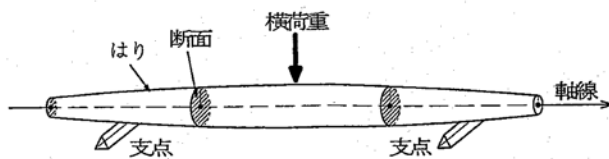


図 3.1

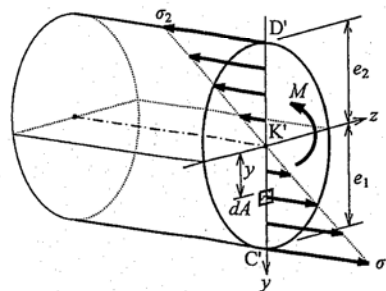


図 4.6

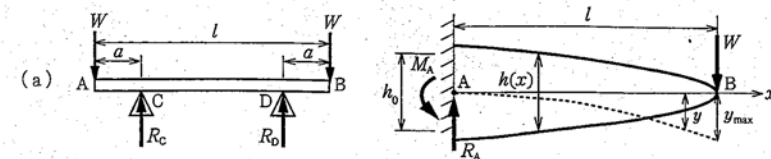


図 5.20

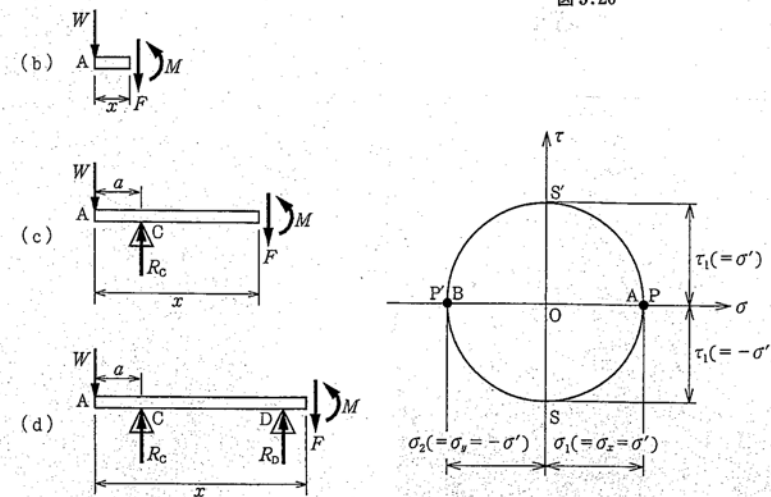


図 3.24

図 9.13